

新春講演会・賀詞交歓会が開催されました

2020年1月22日東京都内において、新春講演会ならびに賀詞交歓会を開催、190名以上の方にご参加いただきました。

会員を対象とした講演会の冒頭で青木会長は、「いよいよ4月から、同一労働同一賃金（改正労働者派遣法等）が施行され、日本の労働市場が大きく動くこととなる。会員各社においては、派遣労働者の待遇確保のため、実務面の整備や派遣先企業との折衝などに追われる毎日かと思えます。当協会としては、迅速な情報提供や相談に応じるとともに、適正な施行が担保されるよう、経済団体を始めとする関係各位への働きかけを行ってまいります」と挨拶しました。



一般社団法人日本生産技能労務協会
 会長 青木 秀登



厚生労働省 職業安定局 需給調整事業課
 課長 松原 哲也氏

第1部では、厚生労働省 需給調整事業課長 松原哲也氏を迎え、「労働者派遣事業の課題と今後の動きについて」として、今後20年間の人口構造の変化等を提示し、同一労働同一賃金をはじめとする働き方改革を進める上での人材サービス業界の課題と、業界に対する期待を述べられました。併せて、今後改正予定の労働法制や派遣法（平成24,27年改正）の見直しを含む審議会の動向について、説明されました。

続く第2部では、当協会平尾理事長より、このたび策定した、「JSLA将来ビジョン2030」を発表しました。将来ビジョン2030は、協会創立30年と今後想定される外部環境の変化や業界課題を踏まえ、会員企業の道標と当協会のあり方を社会に示すために策定したものです。その後、当業界に知見の深い方々を迎え、シンポジウム「JSLA将来ビジョン2030で未来を拓く」を開催。ファシリテーターに、中央大学大学院 戦略経営研究科（ビジネススクール）教授 佐藤博樹氏、パネリストに、ローランド株式会社 顧問 加納好道氏、法政大学 キャリアデザイン学部 教授 坂爪洋美氏の他、青木会長、平尾理事長も加わり、活発な意見交換が行われました。

技術革新の加速等により、変わりゆく外部環境を見据え、派遣元企業・当業界に求められることについてそれぞれの見地から延べ、人材育成や能力開発によって人材力を強化し、ユーザー企業に対する提案力を高めることなど、今後業界として取り組むべき方向性や課題を導き出しました。



一般社団法人日本生産技能労務協会
理事長 平尾 隆志

(参考)

[将来ビジョン 2030 はこちら](#)

[将来ビジョン 2030 解説書はこちら](#)



中央大学大学院 戦略経営研究科
教授 佐藤 博樹氏



(手前から)

ローランド株式会社 顧問 加納 好道氏

法政大学 キャリアデザイン学部 教授 坂爪 洋美氏

青木会長

平尾理事長

賀詞交歓会には、国会議員の先生方を始め、行政、関係団体、その他関係各方面から多数の方々にご参加いただき、日頃なかなかお会いできない方々と歓談されるなど、新年の集まりにふさわしい和やかな場となりました。



【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本生産技能労務協会 事務局 TEL:(03)6721-5361 FAX:(03)6721-5362